

1. 概要

令和元年8月豪雨において六角川流域内の雨量観測所で24時間雨量が観測史上最高を記録し甚大な被害が発生した。今回の豪雨で明らかになった新たな課題に対処するために「令和元年8月六角川水系の水害を踏まえた防災・減災対策協議会」を設立し、関係機関が連携・協力して被害軽減に資する総合的な取組について、活発な意見交換がなされた。

▼会議状況

2. 実施状況

- 日時 : 令和元年10月9日(水)
- 場所 : 武雄河川事務所3階 会議室
- 出席者 : 多久市、武雄市、小城市、大町町、
江北町、白石町、佐賀地方气象台、
佐賀県、武雄河川事務所
関係機関13名参加



3. 議事内容

- 1) 設立趣旨について
- 2) 規約について
- 3) 今後の進め方について
- 4) 取組方針について

4. 主な意見・コメント等

- 本協議会の意見を踏まえ、六角川学識者懇談会との連携を図ることが重要である。
- 科学的な分析をもとに、六角川水系全体として総合的で効果のある対策を検討してほしい。
- 流域内の県管理河川においても対策をしっかりと進めてほしい。
- 内水被害対策を検討するには、流域内の水の流れを把握する必要がある。
- 貯留施設、堤防の拡幅、排水機場の整備など、省庁の枠を超えて流域として最適な対策を行う必要がある。
- 内水被害を軽減するため、クリーク等の社会インフラを活用した対策など農政等関係機関が連携して検討してほしい。
- 一刻も早く道筋をたててほしい。